

浅野工業株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年7月～2024年6月)



木組みの家



認証番号0013792

発行日 : 2024年10月10日

環境経営方針

当社は創業以来、地域に寄り添い、地域に根ざした会社でありたいと思い頑張ってきました。
土木・建築工事を事業とする中で、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 電気、ガソリン、軽油の削減を推進します。
- 3 . 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
- 4 . 水使用量の削減を推進します。
- 5 . 課題とチャンスを明確にし、推進します。
- 6 . 土木建築物の環境性能の向上とサービスの改善に努めます。
- 7 . 本方針を全従業員に周知徹底し、継続的に改善します。

制定日： 2022年7月1日

改定日： 2024年10月10日

代表取締役 浅野 源吾

1. 組織の概要

(1) 名称および代表者名

浅野工業株式会社

代表取締役 浅野 源吾

(2) 所在地

本社・倉庫 〒710-0252 岡山県倉敷市玉島爪崎635

資材置場 〒710-02 岡山県倉敷市玉島長尾3616-1

(3) 環境管理責任者、担当者の氏名および連絡先

環境管理責任者

中田 智恵子

Tel No. : 086-526-2561

Fax No. : 086-526-2562

E-Mail : info@asano1921.jp

(4) 事業内容

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、解体工事業

許可番号 岡山県 特定 第6451号 許可年月日 2022年2月10日

許可期限 2027年2月9日

(5) 事業の規模

資本金 2,000万円

事業所の規模

	本社	倉庫	資材置場
従業員	12人	—	—
延床面積	132.4㎡	1197㎡ (敷地面積)	270㎡ (敷地面積)

(6) 事業年度

7月～翌年6月

2. 認証・登録の対象範囲

登録組織名 : 浅野工業株式会社

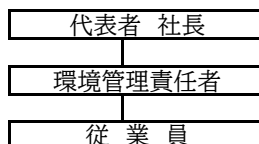
対象事業所 : 本社・倉庫、資材置場

活動 : 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、大工工事業

3. アクセス



4 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの定期的な明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	・環境経営目標、環境経営計画案の審議 ・環境経営の実施状況の評価、見直し ・環境教育の内容検討、実施結果の評価 ・特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）
部 門 長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全 従 業 員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	51,367	35,585	43,558
電力	kWh/年	23,467	20,631	19,034
ガソリン	ℓ/年	7,162	7,458	9,436
軽油	ℓ/年	6,394	2,920	4,554
廃棄物排出量	t/年	156	616	137
一般廃棄物	t/年	0.122	0.245	0.288
産業廃棄物	t/年	156	616	137
水使用量	m ³ /年	54	53	50

当社は、化学物質を使用していません

6. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標(全社)

年 度 項 目	単位	2022年度 (基準値)	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	35,585	35,056	34,873	34,517
電力使用量削減	kWh	20,631	20,425	20,218	20,012
	kg-CO ₂ /年	10,749	10,641	10,534	10,426
	対基準		△1%	△2%	△3%
ガソリン使用量削減	ℓ/年	7,458	7,383	7,309	7,234
	kg-CO ₂ /年	17,302	16,956	16,956	16,783
	対基準		△1%	△2%	△3%
軽油使用量削減	ℓ/年	2,920	2,891	2,862	2,832
	kg-CO ₂ /年	7,534	7,458	7,383	7,308
	対基準		△1%	△2%	△3%
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物削減	t/年	0.245	610.083	603.920	597.758
	対基準		△1%	△2%	△3%
産業廃棄物削減	t/年	616	610	604	598
	対基準		△1%	△2%	△3%
III. 水使用量削減	m ³ /年	53	52	52	51
	対基準		△1%	△2%	△3%
IV. 課題とチャンスの推進	—	— 行動指針とする —	— 行動指針とする —	— 行動指針とする —	— 行動指針とする —
	—				

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、令和2年度(2020年度)中国電力㈱の調整後排出係数 0.521kg-CO₂/kWhを使用

(2) 運用期間の実績(全社)

年 度 項 目	単位	基準年度 2022年度 実績値	運用期間における実績			
			2023年7月～2024年6月			
			目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	35,585	35,056	43,558	80%	×
電力使用量削減	kWh	20,631	20,425	19,034	107%	○
	kg-CO ₂ /年	10,749	10,641	9,917		
ガソリン使用量削減	ℓ/年	7,458	7,383	9,436	78%	×
	kg-CO ₂ /年	17,302	16,956	21,892		
軽油使用量削減	ℓ/年	2,920	2,891	4,554	63%	×
	kg-CO ₂ /年	7,534	7,458	11,750		
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物削減	Kg/年	0.245	245.2	288.4	85%	×
産業廃棄物削減	t/年	616	610	137	447%	○
III. 水使用量削減	m ³ /年	53	52	50	105%	○
IV. 課題とチャンスの推進	—	行動指針とする	行動指針とする	行動指針とする	行動指針とする	○
	—					

評価欄 ○:100%以上、△:90%以上、×:89%以下

7. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

取り組み計画	達成状況	次年度	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減			
電力使用量の削減(責任者:中田)			全員で取り組むことができています
【数値目標】	○		
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	○	継続	体調管理との兼ね合いで、温度設定28度は難しい時もある。
・不要照明の消灯	○	継続	お昼休みの消灯が定着している。
・設備の空転禁止	○	継続	特に不在時のエアコンを消すことに意識を置いた。
ガソリン使用量の削減(責任者:小野)			工事の件数が増え使用量が増。エコドライブ活動は継続する。
【数値目標】	×		
・不要なアイドリングストップ	△	継続	意識はするものの、休憩を車内でとるためアイドリングが増えた。
・急加速急停車の防止	△	継続	運転経験の少ない若手社員への徹底を図る。
・効率的な移動	○	継続	引き続き計画性を持って行動することを心掛ける。
軽油使用量の削減(責任者:中藤)			工事の件数が多く使用量が増。効率的な運転を心掛ける。
【数値目標】	×		
・不要なアイドリングストップ	○	継続	意識付けができてきている。
・急加速急停車の防止	○	継続	引き続き安全運転に注意する。
・効率的な移動	○	継続	引き続き計画性を持って行動することを心掛ける。
一般廃棄物の削減(責任者:事務浅野)			実態調査ができ、細かく分別できるようになってきた。
【数値目標】	×		
・実態調査	○	継続	より細かく区別していく。
・分別の徹底	○	継続	紙ごみと可燃ごみとの分別もできている。
産業廃棄物の削減(責任者:前原)			工事の数により増減がはげしい。再資源化できるよう継続して分別していく。
【数値目標】	◎		
・分別の徹底による有価物化	○	継続	分別はできているが、常に意識を持つておく。
水使用量の削減(責任者:事務浅野)			このまま継続して節水に努める。
【数値目標】	○		
・節水の周知徹底	○	継続	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
課題とチャンスの明確化とその推進(責任者:事務中田)			
内部の課題とチャンス	○	継続	社内での話し合いを持ち、意識を持って仕事にあたることとした。
外部の課題とチャンス	○	継続	SNSの活用を試みた

注) ◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

8. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果と違反の有無

主な環境関連法などおよび遵守評価結果は、下表の通りです。

環境関連法規等	遵守する事項	遵守評価
騒音・振動規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	保管基準の順守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出、特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用、再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
道路交通法	公道利用により事業が成り立つという認識の下、同法令を遵守する	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	遵守
消防法	(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていることを確認しました。

なお、環境関連法規等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示内容

少しずつ「エコアクション」という言葉に慣れてきましたが、まだどのような活動・行動をするべきなのか、いまだ意識付けできていません。

EA21活動がそれぞれの仕事と結びついていない感じがします。

社員一人一人の活動とEA21の具体的な取り組みを意識しながら、それぞれで考えてアイデアを出せるよう、これからも取組を続けていく必要があります。

環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制及びその他の見直しの要否

	変更の必要性		
環境経営方針	☐ 要	☒ 否	
環境経営目標	☐ 要	☒ 否	
環境経営計画	☐ 要	☒ 否	
実施体制	☐ 要	☒ 否	
その他	☐ 要	☒ 否	

2024年10月10日
代表取締役 浅野 源吾

10. 環境経営活動の紹介



<消火訓練の様子>



<スタッフ会議の様子>